

令和年度ふくしま女性活躍応援会議議事概要

日時：令和元年7月31日（水）

13:30～13:50

場所：福島県男女共生センター 第3研修室

1 開会

2 挨拶

3 議事

議事（1）女性活躍推進に向けた主な取組状況について（報告）

（中川男女共生課長から、資料1に基づき、女性活躍推進に向けた主な取組状況について説明）

（引き続き、福島県医師会と福島県中小企業家同友会から取組状況について説明）

○ 福島県医師会 新妻常任理事

- ・FMUキャリアサポート交流会については、平成26年度から県立医科大学の主催、県医師会の共催で開催している。
- ・ロールモデルとなる講師の方の仕事や生活に関する体験談などを聞きながら、キャリアプランを明確にし、実用のためには何が必要なのかを考えることを目的として実施している。
- ・講師は県立医科大学だけではなく、全国で活躍している教授も招いている。
- ・参加者は、看護学生や研修医など若い方が中心。
- ・5月24日に開催した交流会には、女性が66名、男性が8名参加した。
- ・次回は、来年1月に開催を予定している。

○ 福島県中小企業家同友会 小泉女性委員会委員長

- ・中小企業家同友会は、郡山市には女性組織があったが、全県としては、今年度、初めて女性委員会が発足し活動することになった。
- ・中小企業同友会は、経営者がともに学びあう会であり、「よい会社を目指そう」、「よい経営者になろう」、「よい経営環境を目指そう」という3つの目的を掲げている。
- ・女性委員会や女性部といった組織は、全国的に各県の同友会に90%くらい組織されている。女性の経営者は、大きな経営をしているというより、個人事業主など小さな経営をしている方が多い。その中でネットワークを築き、女性のいろいろな状況の中で、よい経営者になることを目指し、学びあいをするという委員会である。
- ・中同協という組織では、各県の女性委員会、女性部の役割として、10年前くらい

からワーク・ライフ・バランスの推進を掲げている。よい経営環境を作り、女性が働き続けられる労働環境の整備や、女性が活躍できる仕組みづくりなど、女性である私たち経営者が自社で取り組んでいくだけではなく、同じ同友会の仲間、男性の経営者が9割であるが、女性が働きやすい環境や仕組みづくりについて、女性の目線でひとつの経営のモデルとして発信してことが役割となっている。

- ・女性部の活動は今年度始めたばかりなので、あまり欲張らず、経営者として女性活躍に寄与できればと考えている。

議事（２） ふくしま女性活躍応援会議の今後の取組について

（議事（２）及び女性の人材の育成などについて、以下のとおり意見交換を行った。今後の応援会議の取組については、幹事会で議論を深めていくこととなった。）

○ 福島県商工会議所連合会 石井常任幹事

- ・女性活躍について、まだ女性の経営者が少ないという実感がある。女性の経営者になったとしても、旦那さんが亡くなったので、社長になったというケースはあるが、自分で創業された方といえば、女性起業家大賞を受賞した（株）クリフの石山純恵さんが浮かぶが、なかなかいない。
- ・商工会議所連合会では、創業支援を行っているが、女性の方は創業支援に関して意識が高いので、しっかり応援していきたいと考えている。
- ・また、県や市から各種審議会の委員へ推薦して欲しいと要望があるが、委員になる方が固定化しているので、なるべく頑張っている多くの方に委員になっていただいて、活躍する場を設けていきたいので、現在、女性会とか女性経営者に対して、委員への就任をお願いしているところである。

○ 日本労働組合総連合会福島県連合会 今野会長

- ・我々は労働組合という性質上、女性の参画社会や男女平等を運動方針に掲げながら取り組みを進めているところである。
- ・例年、3月8日の国際女性デーといった記念日に合わせて、女性が中心となって、駅前街頭で花を配布しながら、女性の意識を高めていこうといった啓発活動を行ったり、女性中心でフォーラム・講演会の企画・運営を行っている。
- ・毎年6月には、男女平等推進月間に位置づけしながら、女性に関する制度政策要求をさせていただいたところである。
- ・また、先ほど審議会等の委員について話があったが、私たちも労働組合の立場で委員の選出をお願いしているところだが、数値目標の達成を重視するあまり、一部偏りが生じているという課題がある。
- ・何より、女性が自主的・主体的に、こういった環境をどういう風に醸成していけばよいかを考えることが重要だと考える。まだまだ、職場の中では男性中心社会であ

るが、取り組みを進めていく中で女性の参画を求めていくということが大事だと考えている。

○ 福島県女性団体連絡協議会 小林会長

- ・私たちは、それぞれの団体で目的を持った研修を行い、それを地域の皆様に返しながらか、女性の視点で安全・安心の地域づくりを行っているが、人材育成の面で、なかなか後継者が養成できず、高齢化が進んでいるといった悩みがある。
- ・先ほど、中小企業家同友会の小泉さんより、新たに女性の委員会を立ち上げたというお話があったので、ぜひ、期待したいと思う。
- ・また、審議会の委員についてもお話があったが、私たちもいろいろな審議会から委員への就任をお願いされるが、高齢化しているため、年齢を制限されると人選に苦労する。国の理事会だと、65歳まで働いて、それから活動するとすぐに70歳になってしまうので、安倍首相に審議会委員は80歳くらいまでと要望しているところ。年配の方でも元気な女性はたくさんいるので、年齢制限を緩くしていただけるとありがたい。
- ・今日聞いた話を自分の会に持ち帰って、これからの勉強の場で討論したいと思う。

4 閉会